

2017年度春季(第36回)情報通信学会大会・総会及び、  
 国際コミュニケーション・フォーラム開催のご案内

公益財団法人 情報通信学会  
 会長 三友仁志

2017年度春季学会大会は、6月23日(金)、24日(土)の2日間にわたり、国立京都国際会館にて開催すると同時に、25日(日)に国際コミュニケーション・フォーラムを「ICTが導く次世代情報社会への方向性」をテーマにITS(International Telecommunication Society) Kyoto 2017と、共同開催いたします。開催要領、プログラムは別記の通りです。また、本大会は平成29年度情報通信月間の参加行事となります。

**第36回国際コミュニケーション・フォーラム**  
**「ICTが導く次世代情報社会への方向性」**  
**—Mapping ICT into Transformation for the Next Information Society—**

本分野における世界最高峰の学会の一つであるITSと協力し、東アジアにおける情報通信の新たなパラダイムを構築すべく、シンポジウムを共催する。具体的には、IoTにより収集したデータをAIによって分析し新たな富を創出するという事象に対し経済・社会的観点から議論・分析を行い、その特質を明らかにする。

**第36回情報通信学会大会**

6月23日(金) 総会・懇親会  
 6月24日(土) 個人研究発表(大学院生の部・一般の部)  
 ポスターセッション  
 研究会報告

**公益財団法人 情報通信学会 事務局**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1  
 日土地ビル11階  
 電話 03-5501-0566 FAX 03-5501-0567  
 e-mail : office@jsicr.jp URL : http://www.jsicr.jp/

会場案内  
 国立京都国際会館  
 〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町422番地  
 地下鉄烏丸線「国際会館駅」下車、徒歩5分  
 \*地下鉄出入口④-2をご利用ください。



**学会大会参加申込**  
 参加費 正会員及び賛助会員 2,000円 非会員 4,000円 学部学生は会員・非会員問わず 1,000円  
 懇親会費 6,500円  
 申込方法 学会ホームページよりお申込みの上、同封の振込用紙にて参加費、懇親会費、弁当代を6月16日(金)までにお振込みください。  
 ※会場近隣は食堂等の数に限りがございますので、ご希望の方は学会に昼食用のお弁当をお申込みください。  
 ※本会場は、飲食物のお持ち込みはできません。

おことわり：プログラムは一部変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

**2017年度春季(第36回)国際コミュニケーション・フォーラム**  
**ITS Kyoto 2017 共催シンポジウム**  
**「ICTが導く次世代情報社会への方向性」**

**—Mapping ICT into Transformation for the Next Information Society—**

2017年6月25日(日) 開演 9:00 (10:30 終了予定)

国立京都国際会館 Room D

プログラム:

開会挨拶

基調講演1 「Japan's New ICT Policies in the IoT/AI Age」  
 鈴木 茂樹 (総務省 総務審議官)

基調講演2 「Make the world a smarter place by docomo's IoT and +d」  
 谷 直樹 (株式会社NTTドコモ 法人ビジネス本部IoTビジネス部長)

言語: 英語(同時通訳あり)

参加費: 無料

参加申込: 学会ホームページよりお申込みください。  
<http://www.jsicr.jp/>

※なお、学会ホームページより本フォーラムにお申込みいただいた方は、当日は「情報通信学会 受付」にお越しください。

\*懇親会参加は、別途有料(6,500円)となります。フォーラム参加申込と併せてお申込みください。また、懇親会は前々日の23日(金)に開催となりますので、ご注意ください。

主催: **JSICR** 公益財団法人情報通信学会  
 合同開催: ITS Kyoto 2017

## 2017年春季（第36回）学会大会プログラム

主催 公益財団法人情報通信学会  
協賛 情報通信月間推進協議会

### 1日目[6月23日(金)]国立京都国際会館

時間	内容
17:00~18:00	総会 (Room 104)
18:00~19:30	懇親会 (宴会場スワン)

### 2日目[6月24日(土)]国立京都国際会館 Room F, G, H

■受付開始 8:30~ Room F付近

午前の部:個人研究発表(大学院セッション、一般セッション)

時間	内容		
	第1会場 (Room F)	第2会場 (Room G)	第3会場 (Room H)
	大学院生セッション (アーリーバード)	一般セッション	
	<b>[A] 司会者:</b> 実積寿也 (中央大学)	<b>[B] 司会者:</b> 青木淳一 (慶應義塾大学)	<b>[C] 司会者:</b> 上原伸元 (東京国際大学)
9:00~9:30	中国インターネット市場におけるインターネットライブ・サービス発展に関する研究 —「AcFun」を事例として 劉佳 (台湾政治大学大学院生) 菅谷実 (白鷗大学)	情報時代における中国政府の情報政策 沈霄虹 (上智大学短期大学部)	位置情報のゲーム的利用と地域振興の可能性について —アクティブプレイヤーへのアンケート結果からの考察 吉田達 (東京経済大学)
	討論者: 脇浜紀子 (京都産業大学)	討論者: 袁春暉 (マルチメディア振興センター)	討論者: 井上明人 (関西大学)
9:30~10:00	中国人の韓国観光と対韓認識との関係について —「韓国旅行記ブログ」を中心に— 朴香花 (名古屋大学大学院生)	有体物の法と情報法の基本概念の比較—主体・客体・権利あるいは関係性— 林紘一郎 (情報セキュリティ大学院大学)	「暇」ツイートテキストマイニングによるサイレントカスター分析 大槻明 (日本大学) 町田悠貴 (日本大学学部生)
	討論者: 川崎賢一 (駒澤大学)	討論者: 生貝直人 (東京大学)	討論者: 中村隆志 (新潟大学)
10:00~10:30	音を電気化する装置の研究開発史 —マイクロフォン・真空管・ラウドスピーカーに着目して 福永健一 (関西大学大学院生)	EUにおける「非」個人データへのアクセスに関する政策動向及び経済分析 井上淳 (慶應義塾大学)	2016年参議院議員選挙期間中の候補者におけるTwitterの利用傾向 —2014年衆院選の結果との比較から— 吉見憲二 (佛教大学)
	討論者: 塚本勝俊 (大阪工業大学)	討論者: 新保史生 (慶應義塾大学)	討論者: 山口真一 (国際大学 GLOCOM)
	休憩 (10分)		
10:40~11:10	ウェブデューデリジェンスにおける評価方法の提案 小野寺正浩 (日本大学大学院生) 鈴木邦成 (日本大学)	政権交代が情報通信政策に及ぼす影響 —米国と韓国の事例— 山條朋子 (KDDI 総合研究所) 三澤かおり (マルチメディア振興センター)	ロコミ投稿行動の実証分析 山口真一 (国際大学 GLOCOM) 彌永浩太郎 (慶應義塾大学大学院生) 坂口洋英 (慶應義塾大学大学院生)
	討論者: 大塚時雄 (秀明大学)	討論者: 清原聖子 (明治大学)	討論者: 江口清貴 (情報法制研究所)
11:10~11:40	インターネット上で他人の権利を侵害する発言があった場合のプロバイダの責任に関する日中比較 張晶 (岡山大学大学院生)	議会における情報通信技術の利用 本田正美 (東京工業大学)	中国におけるデータジャーナリズム —人民日報と南方都市报を例として— 賈曦 (東京国際大学)
	討論者: 寺田麻佑 (国際基督教大学)	討論者: 林紘一郎 (情報セキュリティ大学院大学)	討論者: 菅谷実 (白鷗大学)
11:40~12:10	民放地方テレビ局による「住民アイデンティティ」の後の形成 橋本純次 (東北大学大学院生)	米IT法に学ぶイノベーション促進策 城所岩生 (国際大学 GLOCOM)	
	討論者: 宍倉学 (長崎大学)	討論者: 玉井克哉 (東京大学)	

※個人研究発表報告要旨は学会ホームページよりダウンロード可能です。

### 午後の部:個人研究発表(一般セッション)、研究会報告

時間	内容		
	第1会場 (Room F)	第2会場 (Room G)	第3会場 (Room H)
	一般セッション		
	<b>[D] 司会者:</b> 西岡洋子 (駒澤大学)	<b>[E] 司会者:</b> 田中絵麻 (マルチメディア振興センター)	<b>[F] 司会者:</b> 三澤かおり (マルチメディア振興センター)
13:30~14:00	英米独における放送のネット同時配信利用状況 木村幹夫 (日本民間放送連盟研究所)	「ポスト真実」「ポスト信頼」時代に人工知能がメディアに果たす貢献 植田康孝 (江戸川大学)	地域資源の情報発信とコンテンツツーリズムⅣ —名古屋市「project758」の事例— 伊藤昭浩 (名古屋学院大学) 山口翔 (名古屋学院大学)
	討論者: 春日教測 (甲南大学)	討論者: 田中絵麻 (マルチメディア振興センター)	討論者: 富田英典 (関西大学)
14:00~14:30	デジタルメディア時代の公共メディア化と地域密着化に関する一考察 —英国BBC、カナダCBC、オーストラリアABCの事例より— 藍澤志津 (マルチメディア振興センター) 米谷南海 (マルチメディア振興センター)	金融事業者における情報の安全管理と行政手法 斉藤邦史 (慶應義塾大学)	中小零細事業者によるワン・トゥ・メニー・マーケティングゆるく継続的な関係構築によるLTVの最大化— 田島大輝 (株式会社YBC)
	討論者: 上原伸元 (東京国際大学)	討論者: 上原哲太郎 (立命館大学)	討論者: 宿南達志郎 (立命館大学)
	休憩 (5分)		
14:35~15:05	映像表示方法が身体に与える影響 —基礎実験の結果検討— 田畑恒平 (京都産業大学) 伊藤敏 (岐阜聖徳学園大学)	国際的な連携を前提とした情報共有プラットフォームにおけるプライバシー保護の検討 加藤尚徳 (KDDI 総合研究所) 高崎晴夫 (KDDI 総合研究所) 村上陽亮 (KDDI 総合研究所)	東京都における児童・生徒へのアンケートパネル調査からみえる、ネットリテラシー教育のネットリスクの軽減効果の示唆—東京都における児童・生徒へのアンケート調査より— 田代光輝 (多摩大学)、小松正 (多摩大学) 山内康英 (多摩大学)、江口清貴 (情報法制研究所) 浅子秀樹 (LINE 株式会社)
	討論者: 植田康孝 (江戸川大学)	討論者: 上田昌史 (京都産業大学)	討論者: 齋藤長行 (ビジネスブレークスルー大学)
15:05~15:35	制度的契約としてのNHK放送受信契約 磯本典章 (成蹊大学)	経済学的視点他からのデータ取引市場可能性についての試論 高崎晴夫 (KDDI 総合研究所) 寺田真一郎 (KDDI 総合研究所)	東京都市部在住高齢者の情報行動と社会参加 中村広幸 (芝浦工業大学) 遠藤美徳 (新潟市)
	討論者: 木村幹夫 (日本民間放送連盟研究所)	討論者: 三友仁志 (早稲田大学)	討論者: 庄司昌彦 (国際大学 GLOCOM)
	休憩 (25分)・アーリーバード発表賞 受賞式		
16:00~17:30	研究会報告		
	<b>[G] 情報社会研究会</b>	<b>[H] 情報行動研究会</b>	<b>[I] コンテンツビジネス研究会</b>
	テーマ: 震災アーカイブとVRへの応用 報告者: 中村広幸 (芝浦工業大学)	テーマ: ネット利用と排外主義に関する国際比較分析 —「日本人の情報行動」プロジェクトの調査結果から 報告者: 辻大介 (大阪大学大学院人間科学研究科准教授) 討論者: 高史明 (東京大学大学院情報学環特任講師) 森尾博昭 (関西大学総合情報学部教授) 司会: 橋元良明 (東京大学大学院情報学環教授)	『コンテンツビジネスの戦略論』出版記念ワークショップ 「コンテンツビジネスの曲がり角」 ゲストスピーカー・問題提起者: 境治 (メディアコンサルタント) ファシリテーター: 大場吾郎 (佛教大学)

### 2日目[6月24日(土)]国立京都国際会館 個人研究発表会場前

ポスターセッション
地域観光とホスピタリティ: 町歩きボランティア活動の記録とモバイルメディア利用 発表者: 富田英典 (関西大学)
超高齢社会に向けた高齢者福祉領域のオープンデータ整備状況調査 発表者: 庄司昌彦 (国際大学 GLOCOM)、杉内寛幸 (国学院大学)、岡田誠 (国際大学 GLOCOM)
パラオ・ミクロネシア連邦における海底光ファイバーケーブルの課題 発表者: 山下東子 (大東文化大学)
米国における競争禁止契約の活用: 退職者からの営業秘密漏洩の防止 発表者: 瀧澤和子 (早稲田大学WBS 研究センター)
熊本地震における情報行動—ネット上の流言とモバイル・コミュニケーションを中心に 発表者: 齋藤さやか (東京大学)、関谷直也 (東京大学)